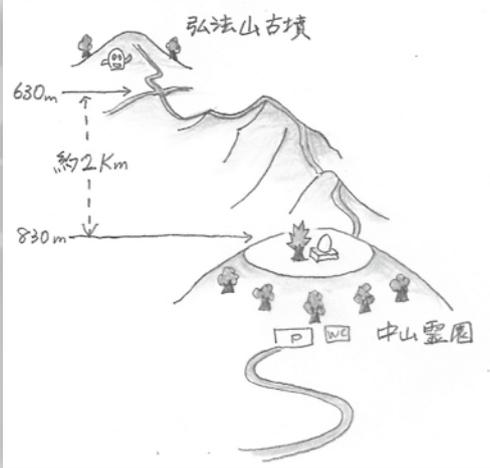


松原裏山散歩・・・桜の面影を訪ねて

今年の冬は、例年よりも寒気の厳しい日々が続き、立春後にも20センチに及ぶ積雪が何度も繰り返されました。重い雪掻きに倦んだ身には、ますます春の到来を待ち望む熱い思いがつのります。そんな思いに急かされて、中山霊園～弘法山古墳までの山歩きをしました(2月9日)。



霊園山頂にある樹木墓地からの景色に一同感動!

ふれあいのまち

松原かわら版

世帯数 1,229 戸
人口 2,972 人
高齢化率(65歳以上) 29.0%
(令和4年2月1日現在)

やや急峻な散歩コース。所々両側が崩落して危険な尾根道がつづく。小さなお子さんには無理かも。



普段はなかなかお目にかかれない北アルプスの全容を望むには絶好のコース。この日は、晴天の青空にアルプスの白銀の山並みがどこまでも見晴るかせました。風もなく、穏やかな小春日和のなか、すべての葉を落として視界が広がる冬枯れの静寂な木立の向こうに、くっきりと連なる大眺望が。樹木の生い茂った夏場には絶対に見られませんね(まさかこの翌日が一転して大雪の朝になるとは)。

本号は、今年度編集委員の最後の紙面となります。この「かわら版」が届く頃には、既に桜の花よりも賑やかになっていることでしょう。そこで、松原地区近辺の桜の「名所」のいくつかをとりあげてみました。桜めぐりの楽しみのお供ともなれば幸いです。



槍ヶ岳の穂先がくっきりと



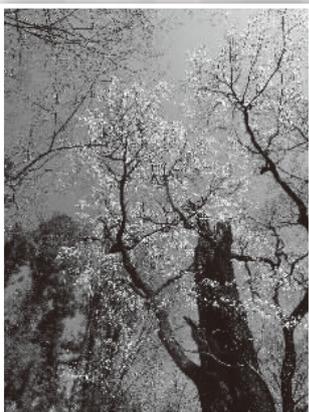
乗鞍岳もこんなに雄大に



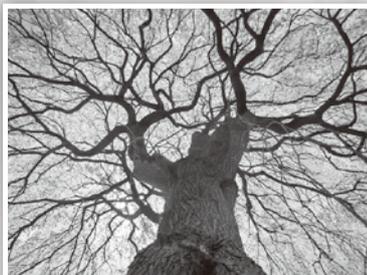
北アルプスを借景に

弘法山古墳のソメイヨシノ
※金華橋からの薄川両岸の大パノラマも絶景です

木霊が宿るシダレ桜の古樹



神代桜(白瀬淵)。桜の木の下には... 信州の霊場(寺・墓所)にはシダレ桜が多い(柳田国男)とか。



松本カントリークラブに登る途中の道脇

遅咲きの桜

南公園の3本のヤマザクラ。中央公園の桜がすっかり散ってしまった後も、名残り花を長く独り占めにできます。

古歌に「あはれてふ ことをあまたにやらじとて 春におくれてひとり咲くらむ」と。“称賛の言葉を独り占めにしたいと、独り遅れて咲くのだろう”の風情。「咲くらむ」に「桜」の文字が隠されていますよ。

「町会」って何だろっ？



「町会」とは何か考えてみました。私が考える町会の意義は「仲間作り」と「防災に備える事」と「自治」です。そのために町会費が必要となり、会員より町会費を集めます。集めた町会費は、効果的に使われるように様々な事業に振り分けられます。

まずは、「仲間作り」です。お互い理解しあうことができ、お互い隣人を多く作ることで、そのために町会の皆様が気軽に知り合っかけとなる遊ぶ機会作りが必要となります。町会交流スポーツ大会「いいづら祭」「青山様・ぼんぼん」「ウルトラゲーム大会」「文化祭・福祉ひろばまつり」「三九郎」です。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大で行事が縮小・中止になり残念です。



次は、防災に備える事です。

「防災訓練」「安否確認」「防災備品の管理」等です。阪神淡路大震災で倒壊家屋に生き埋めになり助かった人の70%は自力や家族による救出、残り30%は隣人で、救助隊が助けたのは17%です。救助隊が来るのを待っていたのでは、17%しか助からないという事です。隣近所の住民が協力し、お互い違うことを理解し合い、協力できる人間関係を築くことが、防災にも強い町会になると思います。

最後は、「自治」です。「ゴミステーションの管理・運営」「町内の清掃活動」「交通安全事業への協力」「敬老の日の行事」等と市・県・社会福祉協議会などの機関の依頼事項に協力することです。

最後に：

*子供のころを思い出してください。遊ばないと友達はできません。

*町会役員は、年齢制限ではなく、体力、能力のある方に協力をお願いしたいと思っています。

(編集委員)

街歩きマップ

みんなで作ろう！

今号の記事内容を検討している中で、「松原の四季の草花や松原近郊の景色が素敵なスポットを紹介しよう」というアイデアが出ました。編集委員の中で様々なスポットを挙げて、紙面では紹介できないほどたくさん場所が挙げられました。

ここで、「紙面の一記事に留めることはもったいない」という委員長の鶴の一声を元に、新しいプロジェクトを立ち上げることが決まりました。このプロジェクトでは、松原や近隣地区にあふれる素敵なスポットをまとめ、歩きながら巡る際の道しるべとなるような地図を作ろうと計画しています。唯一無二の松原モールや道端や公園にそっと生える草花、遠くにそびえる山々など、皆さんが知っている松原の素敵な場所を教えてください。

今後、公民館だよりや松原かわら版の中でプロジェクトの進捗等を報告します。「一緒にマップを作ってみよう」という方は是非公民館までご連絡ください。

からくり時計



先日、私の誕生祝いにと娘から動画が届きました。孫2人が各々の得意技を披露したり、組体操の真似事をしている様子があり、笑い転げます。娘の術中にハマり、私も涙を流しての大爆笑となりました▼遠い昔、明善小学校に通っていた2人の我が子も、地区の仲間たちと日没まで遊び惚け、子等の歓声、嬌声、笑い声は空を突き、天まで届くと響き渡っていました▼しかし時は過ぎ、コロナ禍の昨今、近隣で子供等のはしゃぐ声は聞かれなくなりました。行き場は限られ、

大人数での外出もNG。笑う理由など見つかるはずがありません。人は人と繋がって優しさや思いやりが芽生え、感動、感激の体験が豊かな感情を育むのではないのでしょうか▼只今、公民館、福祉ひろばでは児童生徒の居場所づくりに粉骨しています。関係者の優しさに触れる度、自らの非力、年の経過を痛感しますが、住民同士が協力し合い、腹から笑い合える日の一日も早いことを祈願し、頑張りたいと思います。



(編集委員)

編集後記

本年度も「松原かわら版」をご愛読いただきありがとうございます。この2年間は新型コロナウイルス感染症の影響で行事がなくなるなど、いつもと違う紙面づくりが求められました。そんな中でもより良い紙面を作ろうと、編集委員全員で取材や記事作成に取り組みできました。今月号で全委員が交代となります。これまで

で編集にご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

- 編集委員長 3 町会 渡辺 秀夫
- 副委員長 1 町会 池田 辰美
- 編集委員 2 町会 竹澤 将人
- 4 町会 藤森 庸子
- 5 町会 中島 稔
- 6 町会 工藤 美智香
- 7 町会 山本 礼子
- 松原地区公民館長 下村 純
- 松原地区公民館主事 合津 朋美